

競技・審判上の注意（ABC大会用）

- (1) 本大会は（公財）日本バドミントン協会平成30年度競技規則及び大会運営規程並びに公認審判員規程により行います。
- (2) 審判は全ての試合、大会本部にて行います。なお、サービスジャッジは男女A、Bグループの準決勝より配置し、その他の試合においては原則としてつけません。
- (3) タイムテーブルは試合の順序を示しています。試合の進行は、「流し込み方式」としますので進行のアナウンスには十分注意して下さい。アナウンスがあり次第、監督・コーチ・選手は体育館内の所定の場所に集合して下さい。
- (4) 試合(マッチ)が連続した場合は、原則として前のマッチが終了してから15分後に、次のコールをするものとします。
- (5) リーグ戦の順位の決め方については、①勝ち数の多いもの、②総得失ゲーム率の高い者、③総得失点率の高い者、④直接対決で勝った者の順番で決めるものとします。
- (6) 3位決定戦は行いません。
- (7) コートへの入場は、主審の先導により組み合わせ番号の若番の選手から行き、退場は主審の先導により勝者から行います。
- (8) Cグループは15点3ゲーム（ファイナルゲームは8点でチェンジエンズ）マッチで行います。スコアが14点オールになった場合、どちらかの選手が2点リードするか、その後20点オールに達したら21点目を最初に得点した選手を勝者とします。
- (9) すべてのゲーム中に、一方の選手のスコアが11点（Cグループでは8点）に達した時に、60秒を超えないインターバルを、第1ゲームと第2ゲーム、第2ゲームと第3ゲームの間では、120秒を超えないインターバルをとることができます。その際、主審が「(コート番号) 20秒」とコールをしたら、すみやかにコート内に入ってください。また、アドバイスなどで、コートに入れるのは同時に2名までであるが、主審の「(コート番号) 20秒」のコールがかかったら、すみやかにコートから離れて下さい。
- (10) 選手はマッチ中、所定のインターバル以外に、インプレーでないときに限り、アドバイスを受けられますが、試合進行を妨げる（遅延行為）とみなされるものになってはいけません。
- (11) 各エンドにあるコーチ席（2席）に着席の際には、必ずIDカードを身につけてください。許可されたインターバルの間を除き、指定された椅子に着席するものとし、マッチ（試合）中は、立ち上がったり、コートそばに立ったりしてはいけません。また、コーチが他のコートへ移動する際はインプレーでない時に行ってください。また、インプレー中に声を出したり、ジェスチャーをしたり等の行為をしないで下さい。うちわを叩いたりする行為も禁じます。
- (12) 競技フロア内での携帯電話などの使用は一切認めません。また、モバイル機器（携帯電話 ipad など）を用いたマッチ中のアドバイスやコーチングを禁じます。
- (13) コーチ席での服装等は、公認審判員規定第3条第5項（6）②「コートの外からのアドバイス」に準じ、「チームユニフォーム・シャツ・ポロシャツ・ブラウス、長ズボンまたはスカートとし、ジーンズやビーチスタイル、パミューダ、ショーツ、スリッパとサンダルは禁止とする」、ただし、ハーフパンツは公認であっても禁止とし、7分丈は認めます。競技フロアでは必ず体育館シューズを履いて下さい。
- (14) 選手はいかなることがあっても、体力の回復を図るためにプレーを中断してはいけません。汗ふきや靴ひもをしめなおすなどのため、進行を妨げない限りでプレーを中断する時は、必ず主審の許可を得てからすみやかに行ってください。
- (15) マッチ中の水分補給は、インターバルの間を除き、主審の許可が出た場合に認めます。なお、使用する

容器は、フタやキャップが付いている水分のこぼれないものを使い、あらかじめコート横にあるカゴの中にいれてください。

- (16) 氷のうはインターバル中のみ使用できます。プレー中は保冷器（クーラーバック）に入れ、コーチ席で保管して下さい。なお状況により、コーチ席に人が着くことができない場合には主審に申し出て下さい。
- (17) マッチ中に発生したコート内でのケガや病気に対して、通常コート内に入れるのは、レフェリーが必要と認められた医療関係者等に限りです。
- (18) 審判員の判定に対して疑問がある場合は、次のサービスが行われる前に、当該選手に限り、主審に質問ができます。それが、「抗議」や「異議」になっては絶対にいけません。
- (19) マッチ中の服装は、白または（公財）日本バドミントン協会審査合格品とし、選手は、ウェア背面上部に、「都道府県名、氏名」が明記されているものを必ず着用してください。なお、ゼッケンは本人確認がしっかりできるようにするため、必ず4カ所留めにしてください。チーム名やマークについては、大会運営規定第24条に従い、袖及び胸のいずれかに、50cm²以内のものをつけることを認めます。また、ゲーム開始時には上衣の裾は下衣の中に入れて下さい。ゲーム中に出た場合は、インターバル時に再度入れて下さい。
- (20) マッチ前の公式練習はありませんが、審判の準備が整うまでのウォーミングアップを認めます。
- (21) 選手は、マッチが終わったら勝ち負けに関係なく、主審（サービスジャッジ）と握手することを心がけて下さい。
- (22) 線審が明らかに間違った判定をしたと主審が判断したら、主審は判定を訂正することができます。
- (23) 観客席からの助言や指導、フラッシュ撮影など、マッチの進行に支障があると思われる行為やマナーに反する行為を禁止します。

一 般 注 意 事 項

- (1) 体育館内は観覧席を含め全てが土足禁止です。必ず上履きに履き替えてください。
- (2) 観覧席は地区ブロックごとに場所を指定(表示)してあります。マナーを守ってご利用ください。
なお、盗難事故が多発しております。各自、貴重品等の管理をお願いします。
- (3) 団旗等は、ブロック割当ての観覧席のところに掲示してください。但し、プレーや観戦の妨げになる時には位置を変えさせていただく場合があります。
- (4) ゴミは各自持ち帰るようにお願いします。
弁当の空き箱は、業者の指定した時刻までに弁当引換所にお返しください。
決められた時刻を過ぎた場合は各自持ち帰りになります。
- (5) 食中毒防止のため、手洗いの励行と早めの食事をお願いします。
- (6) 開会式に入場行進を行います。選手は、15時40分前までに選手集合所の都道府県プラカード前に集合し、係りの指示に従ってください。競技の時と同じ服装で参加してください。

《熱中症予防に関して》

- (1) 競技中の水分補給は両会場とも随時認めます。（ただし主審の許可を得た時に限ります。）
審判員・競技役員にも徹底させます。
- (2) 総合体育館においては館内の湿度・温度を常に監視して空調（冷房）を実施または換気を行います。ロビーは空調を完備しているため、館内の状況を常に把握してロビーでの換気等を呼びかけます。
また、東陽スポーツセンターは館内の湿度・温度を常に監視して空調（冷房）の実施または換気を行います。
なお、換気が必要とレフェリーが判断した時は、ラリーを中断させて行うことがあります。
- (3) 看護師を総合体育館・東陽スポーツセンターに各1名常時駐在させます。